

『使用上の注意』

この度は、弊社製品をご購入いただき誠に有難うございます。

製品を安全にご使用いただく為、この『使用上の注意』をよくお読みいただき、お手元に保管ください。

『使用上の注意』及び修理・交換などメンテナンスに関するご相談、お問い合わせ、
また製品に関するご意見等は、下記窓口にて承ります。

お問い合わせ窓口

株式会社マルイ造形家具工業

〒028-6502 岩手 県九戸郡九戸村伊保内11-13 Tel : 0195-42-3031

製品品質管理係

使用上の注意 1

テーブル／収納 箱物類

1 - 1 テーブル・デスクの上には乗らないでください

テーブル・デスクの上に腰掛けたり、立ったり、踏台代わりに使用すると、転倒やケガ、他のモノを壊す原因となるばかりでなく、製品の強度が劣化し破損の原因となります。特に、フリーテーブル(天板置き式、天板と脚部が非固定)は、構造的に非常に危険です。テーブル・デスクの上に、腰掛けたり、立ったり、踏台代わりに使用することはおやめください。

1 - 2 扉、引き出しなどの使用上の注意

扉などにぶらさがったり、引き出しや引き手などに乗ったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。製品の転倒や破損、またケガの原因となることがあります。引き出しは、勢いよくいっぱい引き出すと抜け落ちてケガの原因となることがあります。扉や引き出しの開閉は、指を挟むなどケガのないよう、静かにゆっくりと注意して行ってください。扉の開閉角度の限界以上に無理に開閉すると、扉の破損やケガの原因となります。また、扉の蝶番(取り付け金具)の固定用ネジ類にゆるみがないか時々点検し、ゆるみははじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用を続けると破損やケガの原因となります。

1 - 3 収納 箱物などの取り外し可能な棚の使用上の注意

取り外しのできる棚は、棚受け具を確実に取り付けてください。中途半端な状態では、棚がはずれてケガや他のモノを壊す原因となるばかりでなく、製品の破損原因となります。

1 - 4 テーブル・デスク／収納 箱物類の移動の際の注意

床に置いたまま引きずって無理に移動すると、床を傷つけたり、製品に無理な力が加わるため強度が劣化し破損の原因となります。また、移動中に落としたり、倒したりすると、ケガ、他のモノを壊す原因となるばかりでなく、強度が劣化し破損の原因となります。移動するときには、製品の重量に見合う人数を揃えて、落としたり、倒したりしないよう、手でしっかりと持って運んでください。また、中の収納物や取り外しのできる棚板を全て外し、さらに扉や引き出しは、移動中に開かないよう必ず鍵を掛けるかテープなどでしっかり固定してください。

1 - 5 収納 箱物の家具には、地震対策の為、固定用具を併用して設置してください

地震で収納 箱物の家具類が倒れると、ケガや、他のモノを壊す原因となり大変危険です。地震に備えて、建物の壁・床天井などに、市販の固定用具でしっかり固定してください。また、落下の危険がありますので、収納 箱物家具の上にはモノを置かないようにしてください。収納内部のモノについては、重量の配分等、置き方に注意してください。

1 - 6 設置場所の注意

必ず、水平を保つように設置してください。歪みのある不安定な状態で使用を続けると、変形して扉の開閉や引き出しの出し入れがスムーズでなくなったり、製品の強度が著しく劣化し、破損の原因となります。高温・多湿の部屋では、カビやダニが発生しやすくなり、健康を害する恐れがあります。家具の背面にも空気が流れるよう、壁から10センチメートル程離したり、部屋の換気にご注意ください。直射日光、冷暖房器具の熱や空気が、長時間にわたり直接家具に当たらないようにしてください。変形、変色、製品強度を劣化させる原因になります。

1 - 7 変形、ぐらつきを感じたら、直ちに使用を中止してください

使用目的以外の力が家具に加わると、家具としての強度が極端に弱まり、変形したり、接合箇所の接着やネジがゆるみ、ぐらつきが発生する場合があります。万一、使用中に変形、ぐらつきを感じたら、直ちに使用を中止してください。引き続き製品を安全に使用するためには、点検、修理、交換など、メンテナンスが必要です。メンテナンスのご依頼、ご相談は、販売店もしくは冒頭に記載の窓口までお問い合わせください。